

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	綾瀬ひまわり園
住 所	東京都足立区綾瀬七丁目2番7号
電話番号	03-3629-3231

事業所番号	1312100108
管理者名	堀田 竹広
対象年度	令和5年度

(I) 労働時間	
①1日の平均労働時間が7時間以上	80 点
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満	
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満	
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満	
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満	
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満	
⑧1日の平均労働時間が2時間未満	

(IV) 支援力向上（※）	
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会 参加した職員が1人以上参加している	5 点
②研修、学会等又は学会誌等において発表 1回以上の場合	
③視察・実習の実施又は受け入れ いずれか一方のみの取組を行っている	
④販路拡大の商談会等への参加 1回以上の場合	
⑤職員の人事評価制度 人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	
⑥ピアサポーターの配置 ピアサポーターを職員として配置している	
⑦第三者評価 過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。	
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等 都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている	
小計（注2）	4

(II) 生産活動	選択年度	① 令和6年度、令和4年度及び令和3年度
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	60 点	○
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		

(V) 地域連携活動	
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	10 点

(III) 多様な働き方（※）	
①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度 就業規則等で定めている	5 点
②利用者を職員として登用する制度 就業規則等で定めている	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律 就業規則等で定めている	
④フレックスタイム制に係る労働条件 就業規則等で定めている	
⑤短時間勤務に係る労働条件 就業規則等で定めている	
⑥時差出勤制度に係る労働条件 就業規則等で定めている	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度 就業規則等で定めている	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項 就業規則等で定めている	
小計（注1）	4

(VI) 経営改善計画	
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	0 点

(VII) 利用者の知識・能力向上	
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	10 点

(※) 8項目の合計点に応じた点数 (注1) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点

項目	点数
労働時間	5点 20点 30点 40点 55点 65点 80点 90点
生産活動	-20点 -10点 20点 40点 50点 60点
多様な働き方	0点 5点 15点
支援力向上	0点 5点 15点
地域連携活動	0点 10点
経営改善計画	0点 -50点
利用者の知識・能力向上	0点 10点

合計

# 170

点 / 200点

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

（Ⅰ）労働時間

前年度（ 5年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	10,939	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	1,837	人	利用者の1日の平均労働時間数	6	時間
-----------------------------	--------	----	-------------------	-------	---	----------------	---	----

（Ⅱ）生産活動

会計期間（ 4月～ 3月）

前々々年度（令和3年度）

生産活動収入から経費を除いた額	13,814,155	円	利用者に支払った賃金総額	13,141,515	円	収支	672,640	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	---------	---

前々年度（令和4年度）

生産活動収入から経費を除いた額	13,849,584	円	利用者に支払った賃金総額	13,620,100	円	収支	229,484	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	---------	---

前年度（令和5年度）

生産活動収入から経費を除いた額	4,759,897	円	利用者に支払った賃金総額	12,739,499	円	収支	0	円
-----------------	-----------	---	--------------	------------	---	----	---	---

（Ⅲ）多様な働き方

前年度（令和5年度）における取組（全体表「（Ⅲ）多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を定めている

②利用者を職員として登用する制度

◎利用者を職員として登用する制度を定めている

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に係る労働条件を定めている

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている

（Ⅳ）支援力向上

前年度（5年度）における取組（全体表「（Ⅳ）支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している   
 ◎外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。   
 ※研修名 障害者雇用における人材育成について  
 研修講師 株式会社シンフォニア東武小野様・西潟様  
 実施日・受講者数 2月 15日 6人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している   
 ※研修、学会等名  
 実施日 月 日  
 ※学会誌等名  
 掲載日 月 日  
 発表テーマ

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施している  
 もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている   
 ※先進的事業者名 株式会社シンフォニア東武  
 実施日/参加者数 7月 25日 1人  
 ※他の事業所名 株式会社フォーラムエンジニアリング  
 実施日/参加者数 10月 25日 1人

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。   
 ※商談会等名  
 主催者名  
 日時 月 日  
 内容

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している   
 ◎当該人事評価制度を周知している   
 人事評価制度の制定日 年 月 日  
 人事評価制度の対象職員数 5名  
 うち昇給・昇格を行った者 0名  
 当該人事評価制度の周知方法

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している   
 ◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポート研修」を受講している   
 ※配置期間 月 日～ 月 日  
 就業時間  
 職務内容

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている   
 ※評価を受けた日 1月 26日  
 第三者評価機関 一般社団法人Riccolab

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている   
 ※認証を受けた日 月 日  
 規格等の内容

（Ⅵ）経営改善計画




◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。   
 ※受理日 年 月 日

## 就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	綾瀬ひまわり園
住 所	東京都足立区綾瀬七丁目2番7号
電話番号	03-3629-3231

事業所番号	1312100108
管理者名	堀田 竹広
対象年度	令和5年度

## 地域連携活動の概要

地域連携活動の概要	
<p>&lt;活動内容&gt;</p> <p>活動内容：①日常清掃委託 ②フードパントリー</p> <p>活動場所：社会福祉法人 あいのわ福祉会 綾瀬あかしあ園</p> <p>実施日程：①月曜日～金曜日（祝日、年末年始休業等を除く） ②毎月1回</p> <p>実施概要：①建物内外の日常清掃と美化活動 ②物品の引き取り、仕分け等</p>	<p>&lt;活動の様子&gt;</p> <p>日常清掃</p>  <p>フードパントリー</p>  
<p>&lt;目的&gt;</p> <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・近隣の福祉施設、地域の団体と協同し、社会性（ルール、挨拶、身だしなみ、コミュニケーション力等）を身に付ける。</li><li>・子どもの貧困対策等の社会貢献の機会を身近にする。</li></ul> <p>【地域のメリット】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・清掃業務を担うことで、連携先の業務負担が軽減する。</li></ul> <p>【対象者のメリット】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・法人職員として他法人施設に出向き勤務することで、自信に繋がる。</li></ul>	
<p>&lt;成果&gt;</p> <p>清掃業務を通じて広がったネットワークにより、地域とのつながりが出来、地域と協同でフードパントリーの取り組みに参加している。</p> <p>また、「挨拶」「マナー」「時間、マニュアルに沿った行動」について実践する機会が設けられ、連携先の企業様から一定の評価を頂き、責任感を持って業務にあたることに繋がっている。</p>	

## 連携先の企業等の意見または評価

## 【連携した結果に対する意見または評価】

施設清掃を委託し、清掃員の皆さんが、館内の清掃やごみ回収など環境整備に取り組んで頂いています。清掃の対応に満足しています。また、清掃に携わる方達の挨拶もしっかりしていて、安心してお任せをしています。



地域ニーズの一つとして、協同で貧困対策への取り組みであるフードパントリーの運営を実施しています。毎月1回の開催のため準備から当日の運営を行っています。

連携先企業名	綾瀬あかしあ園	担当者名	神田 博至
--------	---------	------	-------

## 「労継続支援A型事業所」における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告

事業所名	綾瀬ひまわり園	事業所番号	1312100108
住所	東京都足立区綾瀬七丁目2番7号	管理者名	堀田 竹広
電話番号	03-3629-3231	対象年度	令和5年度

### 利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p>&lt;活動内容&gt;</p> <p>活動場所：綾瀬ひまわり園          実施日程：第1火曜日、第3木曜日          実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要：          清掃作業や就労活動の基礎講座、生活マナー向上講座、          栄養士から体調管理や食事について学ぶ          利用者数：8名</p> <p>&lt;目的&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人としてのマナーの向上</li> <li>・社会性、ルールの習得</li> <li>・就職先の選択肢拡大</li> </ul> <p>&lt;成果&gt;</p> <p>研修翌日からしっかり挨拶を交わしているなど変化がありました。また、連携先の企業様からも「挨拶もしっかりしていて、安心してお任せをしています」とあり、成果にも繋がっていました。</p> <p>&lt;課題&gt;</p> <p>デジタルの学びが少ないため、増やしていきたい。</p>	<p>&lt;活動の様子&gt;</p>  
---	---

### 連携先の企業や事業所等の意見または評価

<p>&lt;講師の意見&gt;</p> <p>今回の講座では、主に施設内のコミュニケーション力を高めることを取り組みましたが、しっかり受けとめて頂いたようで良かったです。当日のご利用者の反応から、手ごたえを感じていましたが、「翌日よりはきはきした挨拶を聞くことができた」という報告で実感することが出来ました。</p> <p>今後の日々の中で挨拶、報連相や見だしなみのレベルアップが定着されることを願っています。</p>	
連携先企業（担当者）	株式会社ベターコミュニケーション 瀧田 義昭 氏

### 利用者からの意見・評価

<p>・施設内のコミュニケーションについて、挨拶の仕方や報告・連絡・相談や身だしなみ等について学びました。今まで出来なかった所や、大事な所をもう一度見直すために今後の参考にしたい。</p>
--